

あなたがたの身体をもって不品行をするのではなく、神の栄光を現しなさい”ということパウロはここで命じています。その理由は「あなたがたは、もはや自分自身のものではない」からです。信仰者は皆、「主のもの」とされています（Iペテロ2：9-10、詩篇100：3、ローマ14：8）。それは、私たちが「聖霊の宮(1)」であり、「代価を払って買い取られた(2)」からです。主のものとされた人に相応しい生き方は、神の栄光を現して生きる生き方(3)です。このことを頭では理解していても、日常の中でいつも行うのはなかなか難しいことです。私たちは罪の赦しを受けましたが、罪の性質（神の御心に背く）が消えたわけではないからです。この地上での歩みにおいて、私たちは自らの罪と闘わなければなりません。

しかしその闘いは、孤独な闘いではありません。主は必要な助けを与えてくださっています。それは、私たちの内におられる聖霊です。聖霊は私たちの「助け主」です（ヨハネ14：26）。真理がよくわかるように導いてくださいます（ヨハネ16：13-15）。聖霊の働きによって私たちは、どれほど神が私たちのことを深く愛してくださっているのかを知っていくのです。贖いの代価となられた主イエスの愛。立ち返る者たちを喜んで受け入れてくださる父なる神の愛。これらを深く知れば知るほど、罪を離れ、神の栄光を現して生きるための助けとなるでしょう。

また、神は聖書から、いつも必要なことを語ってくださいます。毎日聖書を読むことによって、神の愛を確認し続けることができるのは、大きな恵みです。

さらに、神は教会に集う方々を用いて必要な助けを与えてくださいます。互いに励まし合い、ともに主を喜び、神の栄光を現していく交わりが建て上げられていくことを求めていきましょう。

- (1) 宮とは神殿のことです。神殿は主のために造られたものであり、主はそこに臨在してくださいました。私たちの身体が神殿であると言われているのは、私たちも主のために造られた者であり（イザヤ43：7）、聖霊がそこに臨在してくださるからです（使徒2：38、IIコリント6：16）。
- (2) 神は、もともと罪の奴隷であった私たち（ヨハネ8：34、ローマ6：16）を主イエスの血によって買い取ってくださいました（Iペテロ1：18-19）。
- (3) 「神の栄光を現しなさい」という言葉は、「神の栄光を讃えなさい」という意味です。具体的には、賛美や礼拝を捧げることが挙げられます。